

移動知事室「知事と語るう。」

さわやかトーク

県民の意見や要望などを県政に活かすこと、そして県政についての理解と関心を深めることを目的とした「知事と語るう。」をさわやかトークが、5月30日に福島県南会津合同庁舎（南会津町田島）で行われ、只見から

新国勇さん（只見）と酒井真樹子さん（長浜）の2名が懇談者として出席されました。

はじめに、佐藤雄平福島県知事のあいさつがあり「皆さんの意見をお聞きし、南会津の情勢や課題について懇談しながら県政に反映させていきたい」と述べられ

懇談者6名が佐藤知事を囲んでの懇談に入りました。懇談では酒井真樹子さんの食の安全や地産地消の大切さについて、もっと教育に取り入れては？という質問に対し佐藤知事は食育は重要な課題、今後、食物の大切さや栄養と体の係わりなど教育に積極的に取り入れ、給食などでも地産地消の必要性を伝えたい。と答えま

▲ あいさつをする佐藤福島県知事

した。新国勇さんは、ユビソヤナギについて説明され只見（南会津）には貴重な自然、手つかずの自然がたくさんある。天然の森も全国トップレベル、そのことにもみんなで気づき町の価値を発信する。意識改革をする。それだけで特別な経費もかけず活性化していける。と意見を述べ、佐藤知事は、人に観て貰うことと自然保護とは相反する。そこが難しい。今後は自然や文化に興味を持つ人が増加する。そこで自然を守ることに観て貰うことがこの共存をいかに対処するかが課題で行政として対策を推進していきたい。と答えました。

出席者全員の質問や意見に対し回答されたあと、フリートークが行われ懇談が終了しました。最後に佐藤知事は、これからこの南会津を魅力ある地域、人の来る地域として、地域づくりを推進していきたい。と話されました。

さわやかトークを終えて…

酒井真樹子さん・長浜（町社会教育委員）



初めにこのお話を聞いた時に、知事がこの庶民の声を聞いてく

さる事に驚きました。当日担当の方の私達の緊張をほぐす笑顔、言葉掛けで少し緊張のほぐれた中、私の質問は①地産地消食育給食②只見雪まつり③キャリア教育④お嫁さん支援でした。

知事は二時間という限られた時間の中、出席者の質問に一つ一つ丁寧に答えてくださいました。特に只見雪祭りでは、これから温暖化の影響で貴重な雪となるかもしれない雪祭りが縮小化されつつあり観光客をどう増やすか？いいアイデアがありましたらお聞きしたい。の質問に、雪祭りは金山柳津でもやっており一連の繋がりを持つイベントにできればいいと回答くださいました。知事のお話の中で、とにかく生活の基盤が最優先と県民の生活を気になさっていた事と戦後60年、物質文化だったのが今は価値観を変える時にき

ている。と、おっしゃったのが印象的でした。出席者のうち2名の方がインターン生で外部から見る南会津の良さ悪さを聞いて、只見の人とも外から見ると持たないと新しい発見は出来ないと思いました。館岩のインターン池谷さんはここに来るのにインターネットを検索すると会津若松に比べ情報がものすごく少ない、南会津の人はもっとPRすべき私を含め自己表現の苦手な人が指摘されました。今回貴重な体験をさせて頂き、最後に感じたのは冒頭の感想に戻りますが、県のトップがご多忙の中、庶民の声に耳を傾ける謙虚さ凄さに尊敬の念でいっぱいです。でもこれはどこの立場でも言える事と感じました。会社、学校、もちろん家族の中の母親の立場でも。出席者の方々の一生懸命さに心を打たれ、これからの明るい町づくりになんらかの形で貢献できればと思います。今回出席させて頂きまして感謝申し上げます。ありがとうございました。